

地方創生の活動 首相公邸で報告

各地で芽生える地方創生の活動を応援しようとして「SUPERVISIONS（スーパージョーンズ）フォーラム」が、首相公邸で開かれた。

台所だけの建物である「生活工房とうがらし」（大分県宇佐市）を拠点に食を通じて地域や女性たちの活動を支援する神谷禎恵さんや、山口県萩市の漁業者らと起業して萩の魚のブランド化に取り組んだ「GHIBLI（ギブリ）」代表の坪内知佳さんらが登壇し、それぞれの活動を報告した。

東京から宮崎県に移住して16年前、地域交流誌「みちくさ」を創

刊した福永栄子さんは、ボランティア活動のため滞在していた米ロサンゼルスで医療過誤に遭い、帰国後、療養を兼ねて南九州をめぐるのが転機に。「過去と未来をつなぐようなゆったりとした時の流れが心身をいやしてくれた」と振り返り、「地方に息づく伝統や自然と調和する生き方をする人々、その営みを伝えていきたい」。

NPO法人「ビークッドカフェ」（東京都世田谷区）の主催で6月にあったフォーラムには約70人が参加した。

首相夫人の安倍昭恵さんは「みなさんがこの場でつながり、新しいものを生み出してもらえれば」と期待していた。



安倍昭恵さん(前列中央)とフォーラムの登壇者ら
＝首相公邸で